7.1　建築物等のZEB化・省CO_2化普及加速事業／ZEB普及促進に向けた省エネルギー建築物支援事業／新築建築物のZEB普及促進支援事業

①『ZEB』を達成した、まちなかと里山をつなぐ地域交流拠点

株式会社イー・コンザル（大阪府大阪市／学術研究，専門・技術サービス業）

【HP】https://www.e-konzal.co.jp/　【備考】代表申請者　株式会社イー・コンザル

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	建築物等のZEB化・省CO_2化普及加速事業
補助事業の概要	① 新築建築物のZEB普及促進支援事業 ② 既存建築物のZEB普及促進支援事業
実施目的	一度建築されるとストックとして長期にわたりCO_2排出に影響する建築物分野において、建築物のZEB化の普及拡大を強力に支援することで2050年のカーボンニュートラル実現に貢献する。建築物分野の脱炭素化を図るためには既存建築物ストックの対策が不可欠であり、2050年ストック平均でZEB基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す。
交付対象	地方公共団体 ｜ 民間事業者・団体等
補助率	対象：新築建築物 ① 延床面積2,000m²未満（上限3億円） 『ZEB』:1/2、Nearly ZEB:1/3、ZEB Ready:対象外 ② 延床面積2,000m²以上10,000m²未満（上限3億円） 『ZEB』:1/2、Nearly ZEB:1/3、ZEB Ready:1/4 ③ 延床面積10,000m²以上（地方公共団体のみ対象、上限3億円） 『ZEB』:1/2、Nearly ZEB:1/3、ZEB Ready:1/4、ZEB Oriented:1/4

①『ZEB』を達成した、まちなかと里山をつなぐ地域交流拠点

事業の概要

補助金額	補助金額	約1,345万円
	補助率	3/5 ※R5採択のため前頁の補助率と異なる
導入設備	従前設備	なし（新設のため）
	導入設備	Low-E複層ガラス、高性能空調機、全熱交換器、ヒートポンプ給湯器、太陽光発電設備、EMS
事業期間	稼働日	2024年10月
備考	建物情報	総延床面積：112m^2、 建物用途：飲食店等、ZEBランク：『ZEB』



建物外観



太陽光発電設備

事業の効果

エネルギーコスト※	CO_2削減効果
▲約76（万円／年）	約19（t-CO_2／年）
投資回収年数	**CO_2削減コスト**
―	5.8（万円／t-CO_2）

副次的効果

- ZEB取組による自社事業のPR効果
- 多くの見学・視察による人的交流の活性化
- オール電化＋RE100電気供給による ゼロカーボン化の実現

※ エネルギーコストは、「電力・ガス取引監視等委員会　電力取引の状況（電力取引報結果）」の2024年度データから算定した電力単価を用いて試算したものである。

事業者の声



代表取締役　榎原 友樹｜株式会社イー・コンザル

当該施設では、環境分野に限らず「食」や「楽しい」、「オシャレ」といった身近な切り口から社会課題への関心を広げる場づくりを目指し、建築物そのものをZEBとして整備しました。環境省の補助事業を活用し、計画段階からZEBプランナーによる設計のもと、高性能な外皮や高効率空調・蓄熱システムを導入し、快適性と省エネ性を両立しています。完成後は、カフェ、木工所、ガーデニングスペースとして一般向けに運用していますが、脱炭素分野の関係者が集うコミュニティスペースとしても活用され、国内外からの見学も増えています。本事業を通じて、建築を通じた脱炭素の取組を多くの人に体感してもらえる環境が整ったことを大変意義深く感じています。